
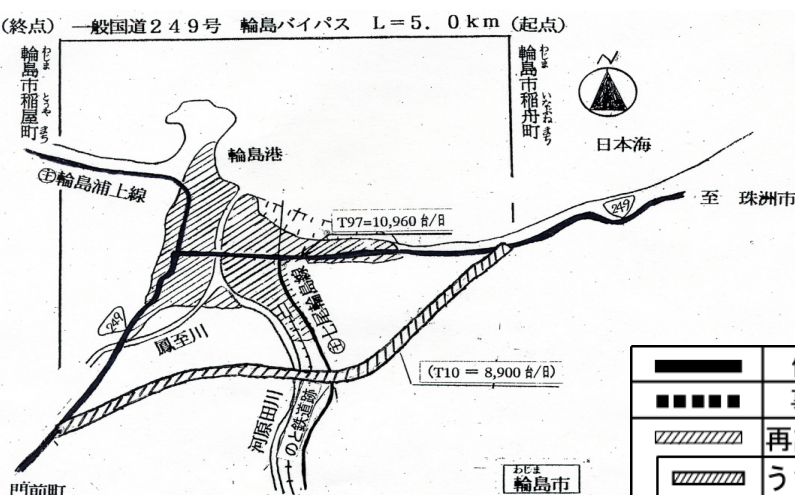


## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名： 中島 威夫

事業名		一般国道249号 <small>わじま いなふね</small> 輪島バイパス	事業区分	国道改築	事業主体	石川県								
起終点		起点 石川県輪島市稲舟町 終点 石川県輪島市稲屋町	延長 5.0km											
事業概要 国道249号は、七尾市を起点に珠洲市、輪島市を経て金沢市に至る延長約261kmの主要な幹線道路であり、能登地方の観光地を周遊する観光道路となっている。輪島バイパスは、観光都市である輪島市の中心市街地をバイパスすることにより慢性的な渋滞の解消を図るとともに、輪島市の外郭を形成する延長5.0kmの道路である。														
H6年度事業化		H5年度都市計画決定 (H 年度変更)	H6年度用地着手		H13年度工事着手									
全体事業費		約130億円	事業進捗率	30%	供用済延長	0km								
計画交通量		7,100台/日												
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 71/113 億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 302/ 302 億円		基準年 平成15年								
	(残事業) 2.7 4.2	事業費：68/109 億円 維持管理費：4/ 4 億円		走行時間短縮便益：293/ 293 億円 走行費用減少便益：3/ 3 億円 交通事故減少便益：6/ 6 億円										
事業の効果等 ・都市の再生（広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する） ・災害への備え（対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけあり） 他11項目に該当														
関係する地方公共団体等の意見 能登開発協議会等早期整備の要望が多い。														
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成13年4月に、地域の足となっていたのと鉄道輪島・穴水間の廃止に伴い、鉄道代替として道路整備の重要性がさらに高まっている。														
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成6年度より優先区間としている輪島市稲舟町～(主)輪島七尾線間L=2.4kmに事業着手しており、本年度末で約97%の用地取得及び一部工事に着手している状況である。														
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き、輪島市稲舟町～(主)輪島七尾線間の整備を促進し、早期完成供用を目指す。														
施設の構造や工法の変更等 特になし														
対応方針		事業継続												
対応方針決定の理由		以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。												
事業概要図														
														
		<table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr><td></td><td>供用中</td></tr> <tr><td></td><td>事業中</td></tr> <tr><td></td><td>再評価箇所</td></tr> <tr><td></td><td>うち供用中</td></tr> </table>						供用中		事業中		再評価箇所		うち供用中
	供用中													
	事業中													
	再評価箇所													
	うち供用中													

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。